

15 輝く朝日

1. 輝く朝日 夜ぞらに光る
月や星よりも
キリストは 美しくきよい救い主
2. ほめたたえよう 人となられた
神のみ子イエスを
主はわたしの救い主 王の王 主の主
3. み使いも 世界の人も
声高く歌おう
美しい キリストこそ すべてのすべてと

147 「主よ感謝します」

主よ感謝します 今のこのときを
こころみの中にも 主の平安がある
なにが(なにが) わたしを(わたしを)
主から(主から) はなすのか(離すのか)
悩みか(なやみか) 苦しみか(苦しみか)
飢えか(うえか) つるぎか(つるぎか)
なにものも私を はなすものはない
主の深い愛から はなすものはない

新聖歌297番 「神はわが力」

- 1 神はわが力 わが高きやぐら
苦しめるときの 近き助けなり
- 2 たとい地は変わり 山は海原(うなばら)の
中にうつるとも われいかで恐れん
- 3 神のみやこには 静かに流るる
きよき河(かわ)ありて み民をうるおす
- 4 みことばの水は 疲れをいやして
新たなるいのち 与えて尽きせじ 【次】

新聖歌297番 「神はわが力」

- 5 神の御許辺(みもとべ)は
常に安(やす)らけく
苦しみも悩みも 消えて跡(あと)ぞなき
アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌 1番 「いざ 皆きたりて」

- 1 いざ 皆(みな)きたりて 喜ばしく
声をひとつにし ほめたたえよ
* こひつじイエスに 御栄(みさか)えあれや
ハレルヤ！ ハレルヤ！ ハレルヤ！ アーメン！
- 2 われらに代わりて 死にたまいし
神のこひつじに 栄えあれや (*くりかえし)
- 3 イエスこそ すべてのちからと知恵
富(とみ)とみちびきを 受くべきなれ (*くりかえし)
- 4 神に造られしもの すべては
声をひとつにし ほめたたえぬ (*くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン